

# 正法寺(岩殿観音)/東松山市

正面は仁王門



仁王門から振り返る/かなりの坂道だ





運慶の作といわれる仁王像



「巖殿山」とある





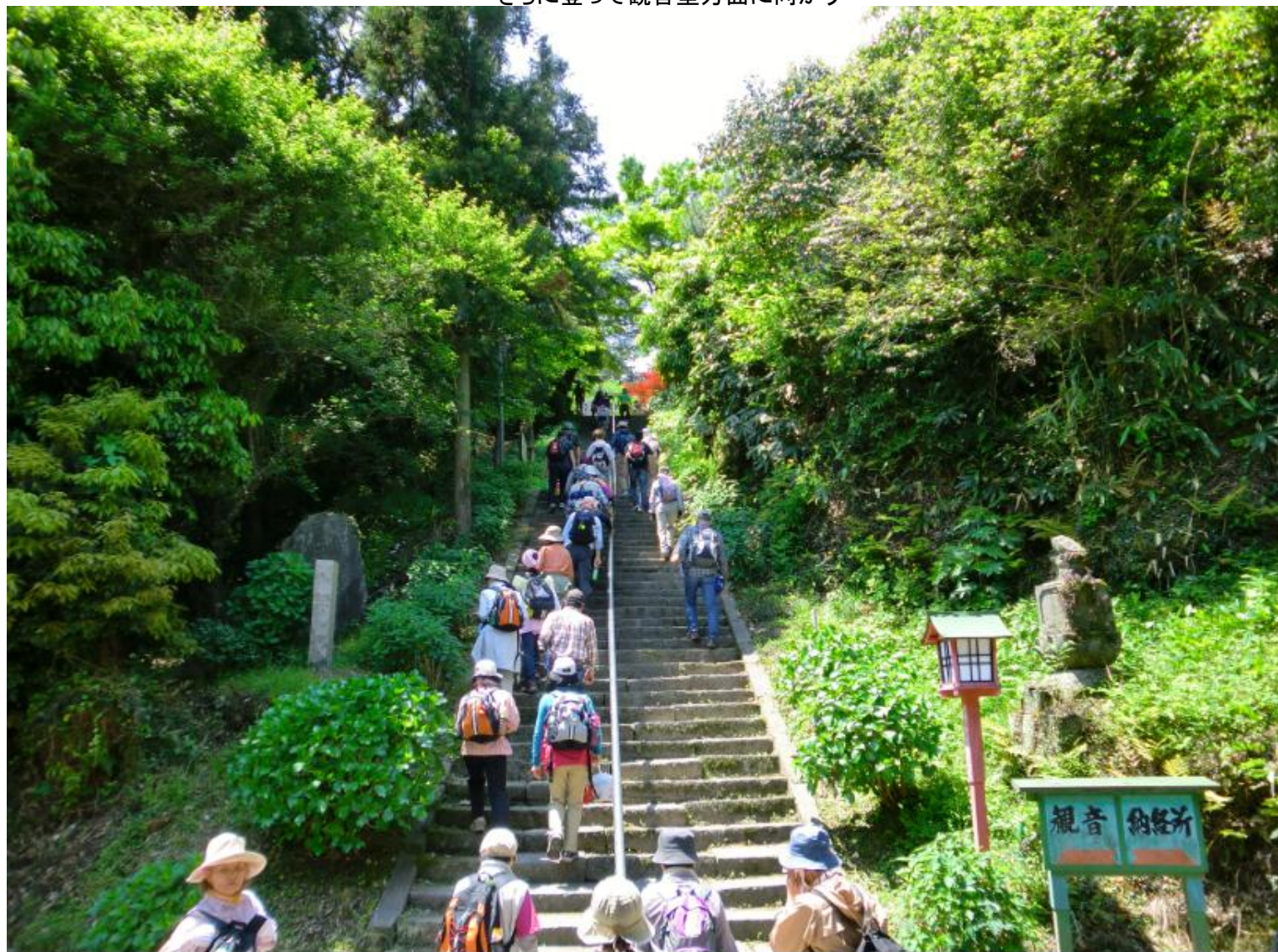


右手にある納経所





さらに登って観音堂方面に向かう



上から仁王門を見る



戦国時代の松山城主、上田宗調朝直が発した制札が残っており、岩殿山一帯の木や草を刈り取ることを禁じたもの(写真は複製)。



更に上から振り返る



「坂東十番霊場岩殿山 正法寺」とある





# 正法寺

真言宗智山派の寺院で、岩殿山修善院とい  
また、岩殿寺ともいう。

源頼朝の命により、比企能員が復興した古  
刹であり、天正二年（一五七四年）僧栄俊が中  
興開山となっている。天正一九年（一五九一年）  
徳川家康より寺領二五石の朱印地を与えられ  
た。

観音堂は養老年間（七一七～七二四年）僧  
逸海の創立と伝えられ、正法庵と称し、鎌倉  
時代に坂東十番の札所となった。千手観音が  
祭られており、西国三十三番、坂東三十三番  
秩父三十四番とセットされる札所の一つ。  
源頼朝の妻、政子の守本尊として信仰が厚か  
ったといわれている。仁王門の仁王は運慶の  
作といわれている。

当寺には、延暦一〇年（七九二年）坂上田村  
麻呂が桓武天皇の勅命によって奥州征伐に向  
かう途中、この観音堂に通夜し悪龍を退治し  
た伝説がある。

なお、正法寺には、県指定史跡の六面幢  
県指定歴史資料の銅鐘、市指定歴史資料の鐘  
楼がある。

埼玉 県





# 観音堂境内見取図



日本百観音石仏

石仏群  
田園八十八ヶ所石仏

地球観測センター

市営  
駐車場

至鳩山

物見山  
展望台

W.C

駐車場  
トンネル

平和資料館

大東文化大学

こども自然  
動物公園

至高坂駅

W.C

現在地

大師水子

駐車場

仁王門

本堂

納経所

参道

観音堂

絵馬堂

薬師堂

百地藏堂

水屋

大イチョウ



埼玉県指定  
勝

# 物見山岩殿観音の勝

東松山市岩殿一二二一ほか  
大正十一年三月二十九日 指定

物見山(標高一三五メートル)は、比企丘陵の最高峰であり、伝説によれば坂上田村麿が東征のときこの山に登り、四圍をながめたことにより山名といい、田村麿はこのとき北方の雪解けに悪龍を退治したという。この山は、俗に九十九峰四十八谷と称し、丘陵は波濤のように起伏している。山腹には正法寺があり、岩殿観世音をまつり、境内には、スギ、ヒノキが高くそびえている。

春になると、ツツジ・ワラビが人を招き、秋には紅葉、青松の間にハツタケが生え、観月、秋草、虫声等の樂があり、また冬は雪曙の観光と四季を通じて景観の地である。

山頂に立てば、遠くは箱根・足柄・大山・富士山・秩父・信越・上野・下野、常陸の諸山から東京湾まで望むことができる。

正法寺は、坂東札所三十三カ所の第十番で、養老二年(七二八)に開山されたという。鎌倉時代には、頼朝、比企禪尼の信仰も厚く、廢寺を再建されたという。戦国時代には数回の兵火で焼け、現在の建物は天明六年(一七八六)の造営と伝えられる。寺前には門前の宿場が栄え、修験道の信徒等が数多く集まったといわれる。

付近にはつぎのような文化財がある。

- 一、正法寺仁王門、薬師堂、鐘樓、白体地藏尊、六面幢
- 一、判官塚
- 一、足利基氏墓址
- 一、旗塚、談合塚



昭和四十九年十月

埼玉県教育委員会  
東松山市教育委員会

正面が観音堂

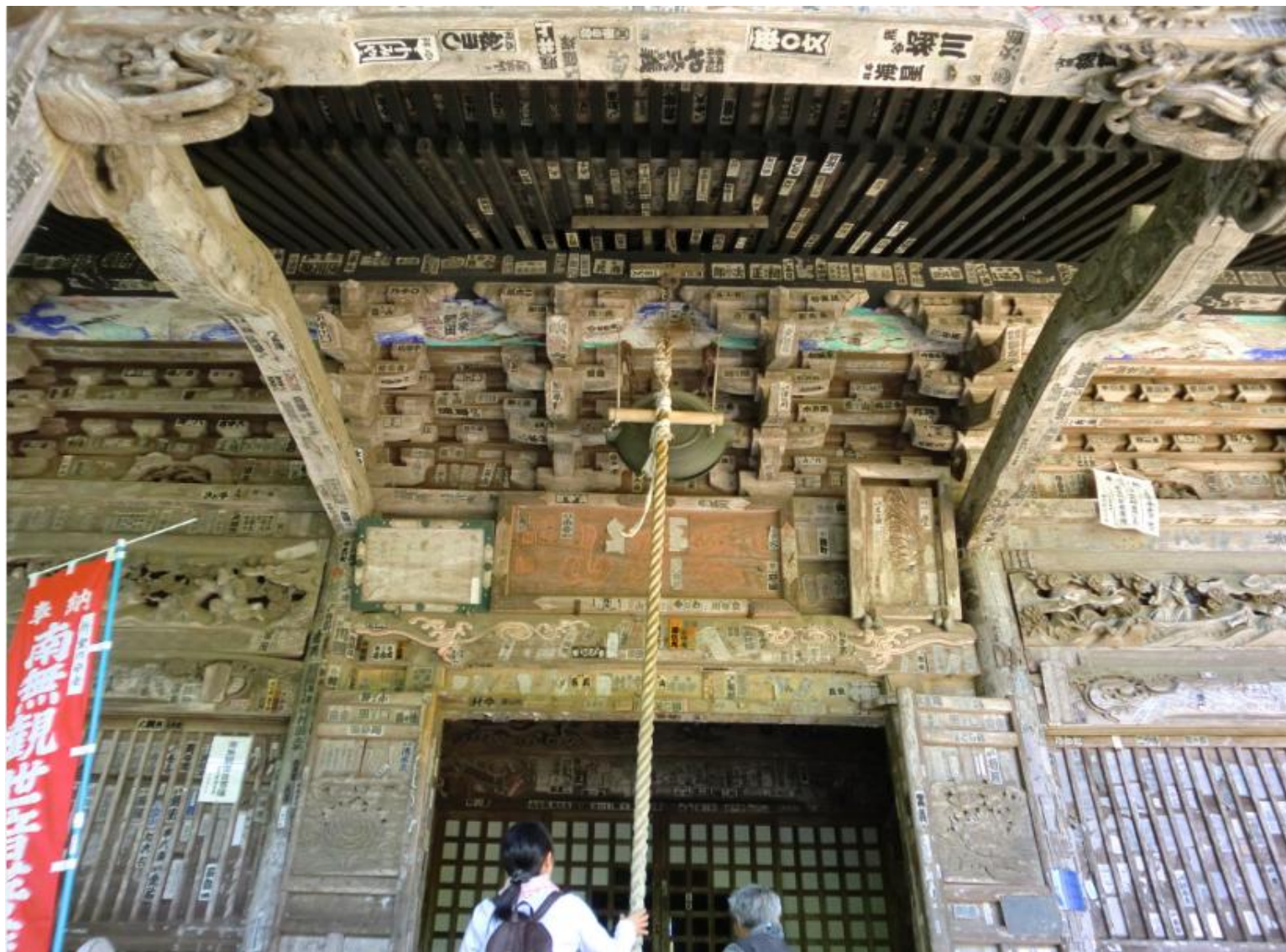




























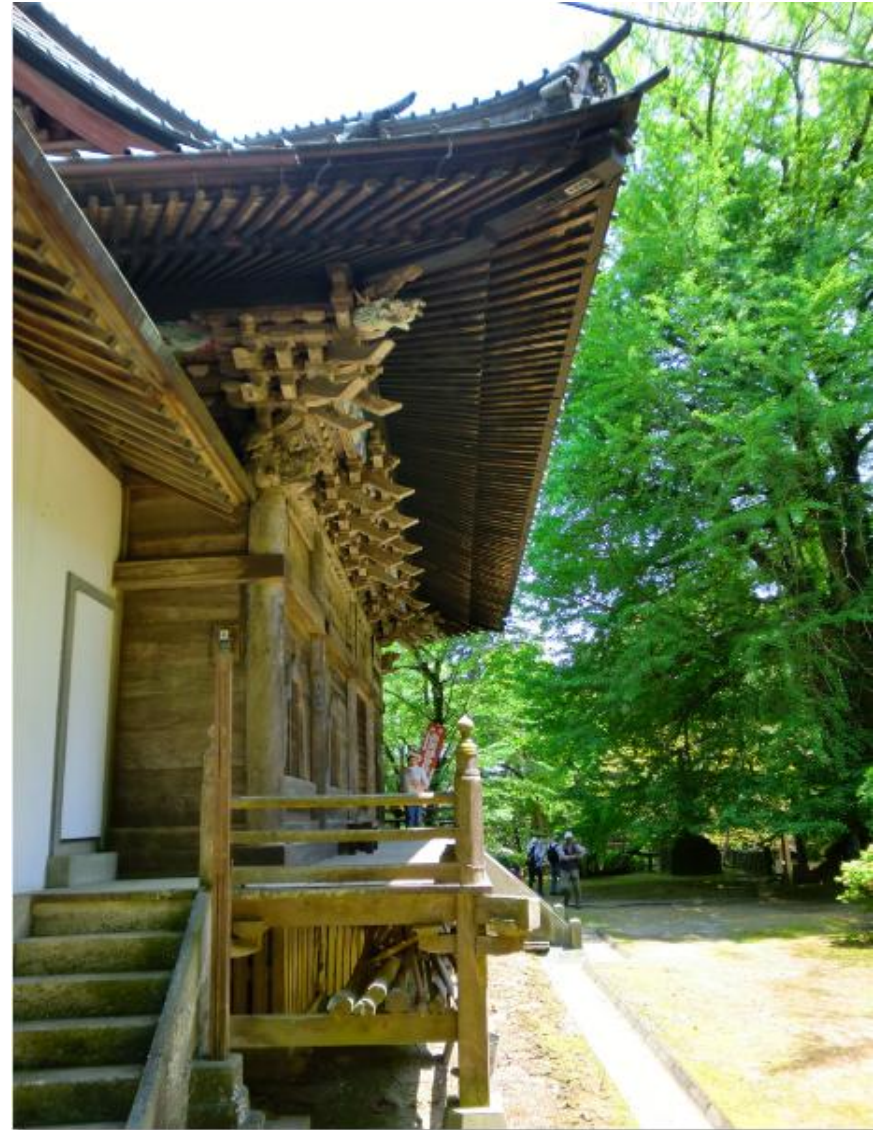
















東松山市  
指定文化財

## 正法寺の算額

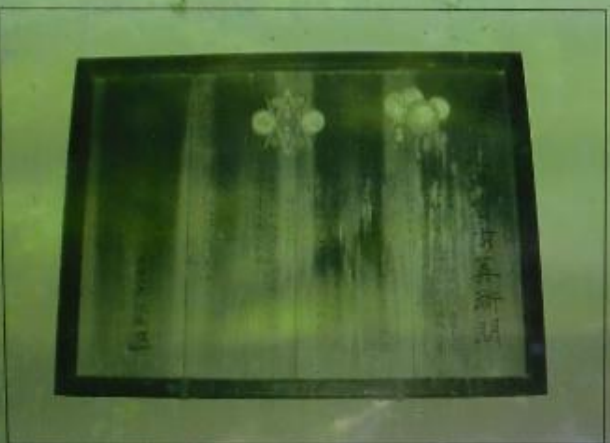
(昭和四九年七月一日指定)

江戸時代から明治期にかけて、中国から伝えられた数学をもとにした日本独特の学問が発達しました。明治以後にイギリスやアメリカなどから伝えられた数学(洋算)と区別して、『和算』と呼んでいます。

江戸時代中頃には武士だけでなく商人や農民にも勉強の風潮が広がり、難しい問題に挑戦してそれが解けると、問題や答えを書いた額を神社仏閣に奉納する習慣がおこりました。難問が解けたことを神仏に感謝したり、今後も勉学に励もうという気持ちを表したり、あるいは参詣の人々に見てもらおうという研究発表の方法でもありました。その額のことを「算額」といいます。

埼玉県域では江戸時代後期から明治期にかけて、特に関孝和の流れを組む和算家が活躍しました。埼玉県に現在残されている算額の数は約八十面、全国一位だということです。

正法寺の算額は、一八七八(明治十二)年に比企郡杉山村(現在の嵐山町)の内田祐五郎(祐五郎)という人が三十三才の頃に奉納したものです。色鮮やかに描かれた二つの図形の下に、それぞれの問題と計算式が記されています。祐五郎は熊谷駅(現在の熊谷市)の戸根木格齋(せきざい)に閩流(閩流)の和算を学び、やがて彼自身も多くの人々に和算を教えました。算額は、趣味として数学に親しみ数学に挑戦し続けた人々の心を、今に伝えています。



文化財を大切にしましょう

平成十七年三月

東松山教育委員会

薬師堂





水屋



百地蔵堂



絵馬堂









日本百観音石仏









四国八十八ヶ所石仏





さまざまな石造物/「奉造立寶篋印塔」とある







水子

大師















正面の大銀杏は、東松山市指定天然記念物となっている









正面は鐘楼と銅鐘





標柱に「県指定歴史資料 正法寺銅鐘」、「市指定建造物 正法寺鐘楼」とある



## 正法寺の銅鐘

昭和五十二年三月二十九日県指定有形文化財

この銅鐘は、元亨二年（一三二二年）に鑄造されたもので、  
 竜頭の高さ三二cm、鐘身一一三cm、口径七八cmです。

銘文によって、岩殿寺（正法寺）の貫主覚阿の代に、沙弥  
 道阿藤原氏が願主となり、沙阿□阿布敷氏女外二名の檀  
 那と沙阿□阿藤原氏女外六名の助成によって奉納されたも  
 のです。

### 銘文

武爲比企郡  
 岩殿寺三尺 寸 鐘一口

貫主 覚阿

右願主 沙弥道阿 藤原氏女

檀那 沙弥□阿 布敷氏女

沙弥道喜 山口氏女

□□□□ □法阿

元亨二年卯月九日

大工  
 助成

沙阿□□	藤原氏女
紀重	□□原氏女
紀弘吉	□□氏女

.....	.....
.....	.....
.....	.....

沙弥□□	.....
□□氏女	.....
.....	.....

.....  
 藤原氏女

## 正法寺の鐘樓

昭和四十六年六月四日市指定有形文化財

この鐘樓は、元禄十五年（一七〇二年）山田茂兵衛の寄進  
 によって再建されたものです。

屋根は、箱棟の草葺、大棟に烏ぶすまをのせ、置千木を  
 三ヶ所に置いてあります。斗拱（組物）、中備、天井などの  
 装飾は少なめで、簡素な中に雄健な吹放ちの鐘樓です。

### 棟札の銘文

聖主中天 武州比企郡野本邑 敬白

迎陵頻伽笈 大旦那山田茂兵衛 元禄十五年十一月十七日

（大日）奉造立鐘突堂一宇 葛袋村

哀愍衆生者 小鷹次良兵衛

大工 金谷村 原 久兵衛

我等今敬禮

昭和五十三年三月 東松山市教育委員会

文化財を大切にしましょう

この鐘楼は元禄十五年(1702年)に再建されたもので、東松山市内では最も古い建造物として東松山市の文化財に指定されている







中々の風景



元亨2(1322)年に鑄造されたもので、埼玉県指定の文化財



左手の道を進むと「県指定史跡 正法寺六面幢」がある







ここを左に進む





正面に六面幢が見えてくる





埼玉県の指定史跡となっている



### 正法寺の六面幢

県指定文化財

この六面幢は、緑泥片岩(青石)の六枚の塔婆を組み合わせて六角柱を作り、その上に六角形の笠石をのせてあります。高さ一〇七cm、板石の大きさは横三六cm、縦一〇一cm、笠石の直径一二八cmです。

笠石の周縁には飛雲・裳裾には双竜と宝珠、宝相華や飛雲が線刻されています。

板石にはそれぞれ銘文が刻まれています。その銘文によると、天正十年(一五八二年)二月に、岩殿山の僧道照が俊譽・妙西・道度・俊意らの善提を供奉するために建立したものと思われまます。

六面幢は、鎌倉時代から室町時代に建てられたものですが、現在知られているものは極めて少なく、正法寺のものは、年代的にも新しいものです。

- 日 (鑿子) 阿闍梨三母 關山堂後弟子 後学法師成仙 又正十年改齊中日
- 上替文頂 可成崇礼成華
- 日 (鑿子) 阿闍梨三母 妙西佛光
- 日 (鑿子) 六地藏菩薩 道度信尼尼景
- 日 (鑿子) 大日如来 俊意法師
- 山岳別立文 文頂
- 岩殿山花押山山居
- (鑿子) アキラウシケン 道照舟位

昭和五十八年三月

東松山市教育委員会

文化財を大切にしよう

六枚の塔婆と笠石でできている/緑泥片岩













この面の石は剥がれてしまっている







近くにこんな「穴」があった







参考ホームページ

<http://homepage3.nifty.com/ih1eda/iwadonokannonn.html>

[http://45723082.at.webry.info/201012/article\\_20.html](http://45723082.at.webry.info/201012/article_20.html)

[http://www.7key.jp/data/fudasyo/bandou33/b10\\_syouhouzi.html](http://www.7key.jp/data/fudasyo/bandou33/b10_syouhouzi.html)



